

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立大浦小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 920-0205
金沢市大浦町又 8 7 番地

E-mail ooura-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://www.kanazawa-city.ed.jp/ooura-e/

幼児児童生徒数 男子 242名 女子 234名 合計 476名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「地域や金沢の〈人・物・こと〉との関わりから学ぶ」をテーマとして、ESD を「地域や金沢の歴史、文化、自然等について学び、伝える」と捉え、自ら考え、人と関わり、発信する力の育成を目標とした。

具体的には、地域、金沢の自然、伝統文化、人を柱に、①金沢の茶道文化、伝統行事に触れる学習 ②外国の文化に触れる学習 ③金沢の食文化に触れる画家羽扇 ④の金沢の人・もの・ことの魅力を調べる学習を行った。

① 3 年生「金沢の茶道文化、伝統行事を学ぶ」

金沢の和菓子文化や茶道文化を知ることを通して金沢の伝統文化の奥ゆかしさについて学んできた。金沢の和菓子の中からテーマを決めて調べ学習を行った。地域の和菓子屋さんをゲストティーチャーに招き、実際に和菓子作りを体験することを通して、一つひとつの和菓子に込められる職人の想いや、技術の巧みさについて感じ取ることができたようだ。伝統行事についても、獅子舞保存会や加賀鳶をされている方を学校に招き、それらを継承していこうという想いについて触れることができたようだ。

② 4年生「外国の文化に触れる」

年間通して外国の方と交流することを継続して行ってきた。校外活動で、観光客の方に英語で出身国を尋ね、世界地図に記入する活動をしたり、アメリカ、中国出身の方を招いて外国の文化についてお聞きしたりする活動も行った。アメリカの方とゲームをしたり、中国の方と餃子を作る活動を行ったりしたことで、外国の文化の違いを感じたり、いろいろな国の人とつながる楽しさを感じる好機になったようだ。外国のことをもっと知りたいという意欲がみるみる高まり、積極的に国の文化や言語について調べる姿が見られた。



③ 5年生「金沢の食文化を学ぶ」

(1) 始めてみよう米作り

地域の方に田んぼをお借りし、田植え、稲刈り体験を行った。学習が始まる前に田んぼの泥の感覚に親しむための活動の時間を設けた。田んぼ体験、田植え体験を通して疑問に思ったことについて調べたり聞いたりする活動を行い、収穫までを終えたあとは、全校に向けて学習してきたことを発表する時間を設けた。劇形式にしてシナリオを考え、自分たちが驚いたことを伝えていた。収穫した古代米と白米を合わせておにぎりを作り、全校に配布した。学習したことをみんなにも広めたいという思いを形にしようと、試行錯誤する姿が見られた。



(2) さつまいも作り

加賀野菜についてその特徴や、作っている方の想いを考える活動と並行して、地域の方からお借りした畑でさつまいもを作った。水の管理などが厳しいお米と違って、比較的日光にも水にも強いさつまいもの育ち方に驚いている様子が見られた。収穫したさつまいもを、古代米と同様に全校にふるまいたいと考え、PTA行事を利用してさつまいもの販売を行った。事前にCMを作るなど宣伝に力を入れ、完売することができた。ものを育てる、計画を立てて販売するという一連の活動を経験したことで、食材が口に入るまでの流れについても学習することができたようだ。



(3) 食文化を目で見、味わう

近江町市場、黒門小路など、金沢の食文化を知ることができる場所を見学した。「ドジョウの蒲焼」など金沢の伝統料理となるものを試食したり、観光客が買い求めるものを目で見たりすることで、金沢の食文化の豊かさについて実感することができたようだ。同時に、金沢の食文化がいかに国内、世界的に認められているかを感じるきっかけとなった。

④ 6年生「金沢の人・もの・ことの魅力を調べ知る」

(1) 金沢探訪

金沢の歴史や伝統がわかる場所や、その場所にゆかりのある人について調べる活動を行い、自分たちで計画してまわる「金沢探訪」を行った。HPなどで知るだけではなく実際に足を運んで見たり聞いたりすることで理解が深まったようだ。探訪後には、金沢パンフレット作りに挑戦し、パソコンで金沢の魅力をまとめる活動を行った。



(2) 本物から学ぶ

年間継続して、飲食店経営者やプロスポーツ選手、薬剤師など様々な分野で活躍される方からお話を聞く活動を行った。ただ仕事内容を聞くだけではなく、その方の話しぶりや話す内容

から人としての生き方についても感じ取ることができたようだ。毎回、会の後には感じたことや学んだことを文章としてまとめ、自分の生き方に照らし合わせていた。自分に足りないところを見つけたり、お話しされる方の共通点を見つけたりする姿が見られた。日ごろ、保護者や教師など、決められた大人と接することが多い子どもたちにとって、他の大人と話すことが新鮮で、よい刺激になったと感じる。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

金沢市小学校副読本「華やか金沢」「のびゆく金沢」「子ども金沢市史」金沢伝統工芸ネットHP、金沢市観光協会HP、金沢市HP、石川県HP、いいね金沢加賀野菜HP、パンフレット「金沢の用水」「城下町金沢のみち」「金沢育ちの野菜果物」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

金沢市立大浦小学校教育課程の総合的な学習の時間のカリキュラムに、ユネスコスクールの活動を位置づけている。

3年は「町の人々や自然とのつながり」4年は「各国の伝統から学ぶ」5年は「自然や食文化を学ぶ」6年は「私たちの未来・世界に向けて」とし、子どもたちの身近な地域、自分たちが住む金沢、そして、世界へと目を向け、ひと、自然、伝統文化と触れ合う体験活動を重視した。「人・もの・こと」との関わりに関心を持ち、自らの興味や関心に基づく問題の解決や探究活動を通して、自己の生き方を考え、他者とともによりよい生活を創造し、実践していく態度を養う。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に参考となる資料や地域人材、施設等のリストを載せ、6年間を見通して児童に力がつけられるようにしている。

ESD 担当を置くとともに、各学年に総合的な学習の時間の担当を置いている。ESD 担当を中心にして、学習の進捗状況を把握したり、学習のまとめの仕方を検討したりした。さらに、実施後の振り返りをもとに、次年度の学習の見直しを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価の評価項目に金沢ふるさと学習において「金沢の多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広める学習を実践している」を観点に評価している。具体的には、①金沢の持つ人材・施設を学習に生かしている回数 ②児童が自分の町や金沢に愛着と誇りを持っているかの意識をアンケート項目にして評価している。成果としては、地域の方々の協力を得て、地域素材の教材化が進み、体験的な学習が充実した。そのことにより、地域への理解が深まり、誇りを持つ児童が増えた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

各学年の学習の成果を模造紙にまとめたり、パンフレットを作ったりして掲示することで、全校児童に発信し、また、授業参観を利用して地域や保護者にも学習内容を伝えることができた。また、金沢ふるさと偉人館で「ふるさと学習展」に学校の成果をポスターにして展示した。効果としては、金沢市の学校がふるさとを大切に、誇りに思う気持ちが育ったことである。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

3年生では、地域の伝統文化を学ぶために大浦消防団の方々と交流し、獅子舞や加賀鳶の体験学習をした。
5年生の金沢の食文化では、米作りや加賀野菜の五郎島金時の栽培にあたって、JAの方々の指導を受けた。また、近江町市場へ行って実際に金沢の伝統料理などを見たり、食べたりして学びを深めた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

金沢市全体で、「金沢ユネスコスクール子どもサミット」が計画、実施されている。ユネスコスクールの活動をポスターにまとめて発表し、交流する予定であったが、今年度は大雪のため、ポスター掲示のみとなった。
今後、小中一貫教育の1つとしての交流も検討していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域で伝統文化や農業などを守り、継承している人たち、さらに、地域の歴史に詳しい人たちと直接出会い、お話を聞くことにより、地域の「人・もの・こと」がより身近になった。子どもたちが学んだことを家族に伝えていくことで、地域の繋がりが広がっていくことを実感した。

子どもたちの学習を通して、教員のこの地域のことをもっと知りたいという意欲が高まり、積極的に地域に出ていくようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

これまでの「地域や金沢の〈人・物・こと〉との関わりから学ぶ」をテーマとした活動を継承し、総合的な学習の時間のカリキュラムに、ユネスコスクールの活動を位置づけていく。

- ・3年は「大浦の町新発見」とし、地域の伝統行事や文化に触れる
- ・4年は「金沢の伝統を支える人々とのつながり」とし、金沢の偉人、伝統工芸に触れる
- ・5年は「金沢の食文化・自然を調べる」とし、古代米作り、加賀野菜や郷土料理に触れる
- ・6年は「未来に向かうまち金沢」をテーマとし、金沢の歴史や文化に触れる。

どの活動においても、児童の学習意欲や課題意識を大切にして人との触れ合いや体験活動を重視し、課題追求力、学習対象理解力、表現力を育てていきたい。